

Adecco 様事例

IBM Migration Factoryを導入することで リスクを極小化したシステム統合を実現

ハイライト

■ 課題

統一性のなかった世界的人材派遣会社の
ITインフラを整備し、システムのメンテナ
ンス性と信頼性を向上させること

■ ソリューション

50台を超えるHP製ならびにSun製
サーバーをIBM Power Systems™に
統合し、ミッション・クリティカル・データと
PeopleSoftとOracle E-Business
Suiteを含むアプリケーションとの統合
にIBM Migration Factoryを使用

■ 主要なメリット

オペレーション・コストを削減し、新次元
の拡張性とフレキシビリティを獲得。劇的
と言えるほどシステム・パフォーマンスを
向上



better work, better life

Adeccoは、スイスに拠点を置く世界的な人材派遣会社で、同社のチームは世界60カ国以上のさまざまな市場にサービスを提供しています。このGlobal Fortune 500企業は、1996年に2つの人材派遣会社が合併して設立されました。そして同社は、人材派遣サービスにおける世界のリーダーになるまでに成長しています。Adeccoのサービスには、労働市場へのアクセスを求めている人々や、新たな機会や人材を求めている組織のための、キャリア管理、機会提供、アカウント管理などがあります。

「当社は、実質的に世界のすべての市場セグメントをカバーしています。私たちは、金融、法律、IT、および工業セグメントにおいて特定の職を探している人々、およびそうした人々を探している組織と協力しています。」と、Adecco Group North Americaの前CIOのAlwin Brunner氏は語っています。

「IBMは、いつも本気でお客様のことを考えていてくれる点で定評があります。これは私たちにとって思い描いていたとおりの選択でした。」

AdeccoのITプロダクション・サービス部門担当
バイス・プレジデント、
Mike Clement氏

IT関連の課題の克服

Adecco Group North America は、約 1,000 箇所の人材採用拠点を配しており、そこで 7,000 人のスタッフ・メンバーが、12 万 5,000 人以上の Adecco 派遣社員をサポートしています。同社が徐々に成長するにつれて、その IT 環境も拡大してきており、その結果として異機種混合のインフラストラクチャーが構築されて、次第にその管理が困難となりました。同社は、インフラストラクチャーおよびバックオフィスの統合に取り組もうとすべく、プラットフォームを統合することによって、業務運営上および経済上のメリットがもたらされ得ることに気づきました。

こうした懸念の解決に取り組むとともに、自社の継続的成長に対応するために、Adecco は大規模な統合の取り組みに着手して、IT インフラストラクチャーを再構築するとともに、システムを共通の IT 基盤へと移行させました。このプロジェクトには、2,000 ~ 2,500 人の同時ユーザーをサポートする顧客管理システムはもとより、給与計算、財務、およびデータウェアハウス・システムまで含めた、Adecco の基幹業務システムの統合に伴う大変大規模なものとなります。またサポート・システムには、プロビジョニング、EDI システム、FTP、租税管理システムなどが含まれました。

最適なテクノロジーの選択

Adecco は、HP、Sun、および IBM の提案ソリューションを評価した結果、最終的に IBM の POWER® プロセッサを基盤にしたアーキテクチャーに標準化することにしました。同社は、HP および Sun の 50 台のサーバーを、IBM AIX® V5.3 オペレーティング・システムが稼働する、IBM System p® 570 サーバーの 5 ノード・クラスター上に統合しました。このシステムでは、多くのアプリケーションの中でも、Oracle PeopleSoft および Oracle E-Business

Suite という同社の基幹業務アプリケーションが稼働しています。また Adecco はこの機会を利用して、いくつかのエンタープライズ・アプリケーションのアップグレードと、既存プロセスの最適化も行いました。

「私たちは、すぐに、自分たちにはビジネスを前進させるために必要な拡張容易性と信頼性を提供してくれるプラットフォームが必要であることを認識しました。そして、私たちが必要としている拡張容易性を備えたプラットフォームをいくつか評価を始めたとき、IBM Power Systems によるソリューションが、私たちの求めていた技術上および業務運営上の適切な利点を備えていることが明らかになったのです。今では AIX プラットフォームがまさに業界標準となっており、まさに私たちの特定のビジネスに最適なテクノロジーでした。」と、Adecco の IT プロダクション・サービス部門担当バイス・プレジデントの Mike Clement 氏は述べています。

「会社の日常業務において重要なテクノロジーについて検討するときには、ソリューションをサポートするための適切な組織が必要になります。IBM は、いつも本気でお客様のことを考えていてくれる点で定評があります。これは私たちにとって思い描いていたとおりの選択でした。」と Clement 氏は続けます。

また同時に、Adecco はデータセンターを統合する取り組みも行い、主要データセンターを、ニューヨーク州ロングアイランドからノースカロライナ州シャーロットに移転させようとしていました。IBM ビジネス・パートナーの Future Tech Enterprise Inc. の協力を得て、Adecco は 5 つのデータセンターを統合し、システムを新しい施設に移転させました。またデータセンターの統合の一環として、同社は IBM が管理するストレージ・アーキテクチャーへも移行しました。

「同一の時間枠の中で数々の変更がありました。しかし私たちは一企業として成長しつつありました。私たちは、より高い持続力と俊敏性を身につけなければならなかったのです。」と Brunner 氏は語っています。

最大の懸念は移行の停止時間

Adecco が IBM のインフラ・ソリューションを選ぶことに決めた主な要因の1つは、IBM Migration Factory を通じて移行サービスが利用できたことでした。Adecco は、大量のデータを新しいプラットフォームに迅速に移行させることができるかという点とともに、技術チームに新しい AIX 環境を管理するために必要な教育を提供することができるかという点も不安でした。「最初に私たちがその環境を新しい IBM プラットフォームに移行させようと思ったとき、私たちの最大の懸念の1つだったのは、私たちの既存のシステムに保管されていた数テラバイトに及ぶデータを、どのようにして新しいシステムに移行させるかということでした。ビジネスにおいて対処できる停止時間を考えると、これは本当に深刻な問題でした。」と、Adecco Group North America のエンタープライズ・システム部門担当ディレクターの Bess Protacio 氏は述べています。

IBM Migration Factory は包括的な PoC プラン(検証計画)を提案して、Adecco が給与支払小切手の印刷を除く給与計算プロセス全体のリハーサルを行えるようにする、4 週間にわたるプロジェクトを実施しました。

「これは役立ちました。本当に役立ちました。私たちはパフォーマンスが向上し、容易に新しい環境へ移行することができるようになったのです。このことが、IBM とお付き合いしようと思った主要要因の1つでした。」と Protacio 氏は述べています。Clement 氏も同意しています。「IBM Migration Factory は、IBM の優位性の

証明でした。そのおかげで、私たちは移行が首尾よく完遂されるであろうと確信できたのです。」

リスクを極小化する段階的な移行

IBM と Adecco は緊密に協力して、PeopleSoft および Oracle E-Business Suite という Adecco の基幹業務アプリケーションを組み込んだ、強力な移行計画を策定しました。データの移行は、ビジネス上および技術的な要因に基づいて優先順位付けされ、また、できる限りダウン時間が短くて済むように計画されました。双方が、プロセス全体を通して確実にデータのセキュリティ基準が維持されるようにすべく取り組みました。

「私たちは、1つずつ順番に事を進めました。当初、私たちは分析面により多くの時間を費やしていましたが、時間の経過とともにペースが向上しました。」と Brunner 氏は語っています。

また移行に対して段階的アプローチを取ることにより、Adecco の技術チームに、新しいプラットフォームについて学ぶ機会ももたらされました。「私たちのチームは、UNIX® についてはさまざまなタイプのものに対して数多くの経験を有していましたが、AIX に関してはまったく経験がありませんでした。IBM Migration Factory チームは、自分たちの専門知識を持ち込んで、私たちに課題や懸念を克服するためのツールを提供してくれました。」と Protacio 氏は述べています。

「IBM Migration Factory チームは、私たちが新しいプラットフォームについて学べるように、その肩越しに作業を覗き込ませてくれました。おかげで私たちは、自分たちだけでも作業ができるようになりました。最終的に私たちのチームは、自ら進んで『ここからは私たちに任せてください』と言えるようになりました。」と Brunner 氏は補足しています。

ソリューション・コンポーネント

ハードウェア

- IBM System p 570

ソフトウェア

- IBM AIX V5.3

サービス

- IBM Migration Factory



劇的なパフォーマンス上のメリット

IBM のインフラ・ソリューションは、プロセスやコードを一切変更することなく、Adecco の委託プロセスのパフォーマンスが正味 600 パーセント向上するなど、Adecco に劇的な成果をもたらしています。Brunner 氏によれば、IBM のソリューションにより、給与計算のバッチを 3～4 倍も速く実行できるようにもなり、さらにサービスセンターのサービス時間も増大しているとのこと。また Adecco では、統合環境になったことで保守コストが低減したことにより、財政面の大幅な節減も実現しています。

「Adecco と IBM は、この任務を遂行するための包括的プランを策定することができました。こうした IBM との協業のおかげで、非常に成果の大きいプロジェクトとなっています。」と Protacio 氏は述べています。

2009 年 4 月に就任した新しい CIO の Bryan Ackermann 氏は、IBM のハードウェアに Adecco の Oracle アプリケーションを実装したことに感銘を受けています。「この環境は、引き続き私たちにすばらしいパフォーマンスをもたらしてくれています。」と同氏は述べています。

詳細情報

お客様担当の IBM 営業担当員か、または IBM ビジネス・パートナーまでご連絡ください。あるいは、以下の当社 Web サイトにアクセスください。

ibm.com/systems/jp/migratetoibm/factory

ibm.com/systems/jp/power

© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21
<http://www.ibm.com/jp/>

December 2009
All rights reserved.

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、POWER、Power Systems、および System p は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

このカタログの情報は 2009 年 12 月現在のものです。製品、サービス等詳細については、弊社もしくは IBM ビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

当カタログに記載のデータは、すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境、その他の要因によって異なります。

掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国 IBM にお問い合わせください。

掲載された情報は 2009 年 12 月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。